

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	プラント管理人材育成	
科目基礎情報							
科目番号	151598			科目区分	専門 / 自由選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境材料工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリント						
担当教員	志賀 信哉						
到達目標							
1.エンジニアリング業界の現状をグローバルな視点で理解できること。 2.環境問題および事故事例について理解できること。 3.ロス分析とその改善および故障・トラブル対策について理解できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	エンジニアリング業界の現状をグローバルな視点で理解できる。			エンジニアリング業界の現状を理解できる。		エンジニアリング業界の現状を理解できない。	
評価項目2	環境問題および事故事例について理解できる。			環境問題または事故事例について理解できる。		環境問題および事故事例について理解できない。	
評価項目3	ロス分析とその改善および故障・トラブル対策について理解できる。			ロス分析とその改善または故障・トラブル対策について理解できる。		ロス分析とその改善および故障・トラブル対策について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本授業科目では、これまでに学んできたプラントメンテナンスの基礎知識・技術に加えて、環境問題や事故事例研究、さらには故障・トラブル対策等について学ぶことで、グローバルな視点で考えられるプラント管理人材の育成を目指す。						
授業の進め方・方法							
注意点	プラントエンジニアリングをグローバルな視点で考えられるよう見識を広めて欲しい。 事前学習・自己学習・関連科目： 5年前期「プラントメンテナンス実習」→本授業科目→5年夏休み「プラントエンジニア・コース教育」						
本科目の区分							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	人と企業のグローバル化1			1	
		2週	人と企業のグローバル化2			1	
		3週	エンジニアリング業界の現状と海外展開			1	
		4週	コスト工学			1	
		5週	環境問題1（歴史的変遷、環境基本法、環境マネジメントシステム）			2	
		6週	環境問題2（企業の社会的責任、騒音振動、廃棄物）			2	
		7週	事故事例研究1（プラント災害と安全、ヒヤリハット事例）			2	
		8週	事故事例研究2（事故事例とその活用）			2	
	4thQ	9週	ロス分析と改善1（ロスとは、現状分析法）			3	
		10週	ロス分析と改善2（なぜなぜ分析、PM分析）			3	
		11週	故障対策と再発防止1（故障の基礎）			3	
		12週	故障対策と再発防止2（故障分析）			3	
		13週	故障対策と再発防止3（故障事例検討1）			3	
		14週	故障対策と再発防止4（故障事例検討2）			3	
		15週	まとめ（学生によるプレゼン）			1,2,3	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	確認テスト	合計
総合評価割合	0	10	0	0	0	90	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	10	0	0	0	90	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0